

令和7年度入学生キャリア教育全体計画書

学校番号	80	学校名(課程)	松本蟻ヶ崎高等学校(全日制)
------	----	---------	----------------

1 全体目標

- 社会力を備えた自立した人間の育成

2 現状・課題

- 将来の目標を見据えて、どのような行動をとる必要があるのか考えを深められていない生徒が多く見られる。そのために、自己分析を深め、日々の学校生活を通じた基本的な社会スキルを身につける取り組みのほか、様々な体験活動に取り組む必要がある。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。

学校で言い換えた力でもよい。

- a 将来を見通した人生設計をし、目標や夢の実現のために今なすべきことを明確にして精一杯努力する力
b 自己の特性や可能性の芽を発見し、それらを伸ばす努力をする力
c 社会人として不可欠な基礎力
「課題発見(企画力)」「実行(実践力)」「報告・相談・交渉(コミュニケーション能力)」「再挑戦(リトライ力)」

4 内容

指導項目	指導方針(対応する項目)
① 自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 全職員が学校の諸活動すべてをキャリア教育の場として考え、生徒にも意識させる。 イ 各取組の繋がりを意識し、3年間の系統的な指導を行う。
② 仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 講演会・就業体験活動等は、事前準備・事後総括を行い、どのようなねらいで何を身につけ理解したかを確認する。(②、③)
③ 様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 年度末に評価(生徒・教員ともに)を行い、次年度の取り組みや指導に反映させる。 オ 社会や世界の様々な現実や課題、人としての生き方について考えさせる。(①)
④ 卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	カ 知識・技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランス、言語活動の充実を図る。学んでいることと社会の繋がりを意識させる。(②、④) キ 家庭や地域社会、産業界等の力を活用する。異なる世代や分野の人々と交流し、協力する体験活動を推進する。(②、③)

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等(実施学年)
教科の授業	・すべての教科科目において、基礎的な学力定着を最優先とする。＜全学年＞ ・課題学習や研究をおこなう際、社会力にも通じる諸過程を意識的に体験させる。「課題発見(企画力)」「実行(実践力)」「報告・相談・交渉(コミュニケーション能力)」を学習過程の中で体験させ、失敗や挫折の後に「再挑戦(リトライ)」することも重視する。また、可能な限り学習・研究結果を他者に分かるように口頭や文書により説明・発表する機会をもつ。聞き手や受け手からのフィードバックを受けた後、さらに改善する機会も与える。＜全学年＞
総合的な探究の時間	・「将来を見通した人生設計をする」をテーマに、自己理解を深め、将来の進路について考え、目標実現に向けての具体的な計画立案をする。＜1・2年＞ ・学問/職業分野別講演及び研究会＜1・2年＞ ・研修旅行を通じた就業体験活動(計画・交渉・ディスカッション・プレゼンテーション等)＜2年＞
特別活動	・自分の在り方・生き方を考えるためのキャリア講演会＜全学年＞ ・自分の将来像を具体化し、勤労観、就業観の形成を促すための就業体験活動＜1・2年＞ ・クラブ活動や生徒会の諸活動を通じた就業体験活動＜全学年(希望生徒)＞ ・科目選択、進路分野の研究と選択 ・将来設計、目標
校外の体験活動(就業体験活動等)	・幼稚園/保育園実習での就業体験活動(授業選択者、希望者) ・クラブ活動における就業体験活動 (「小学生対象出張実験教室」自然科学部・「地域活性化イベントへの参加」吹奏楽・室内楽・洋楽・ダンス・書道・軽音楽部員等) ・看護医療系分野体験学習を通じた就業体験活動(看護医療系希望者)

地域や産業界等との連携	・地域活性化イベントへの参加・協力を通じた就業体験活動(企画・交渉・運営・片付け等、異世代との交流) ・生徒対象講演会、教員研修 ・就業体験(希望者)
評価	・アンケート、面接等により、生徒の成長とキャリア教育の取組を評価し、次年度の改善に反映 ・キャリアポートフォリオ、キャリアノートの研究
中学校との連携 (指導の継続性)	・高校入学段階までのキャリア形成の振り返り(中学校での体験や指導内容等の把握) ・学校説明会で高校のキャリア教育を説明
校内の推進体制	・全教職員で推進。特に学年担任団は進路指導係と連携し、計画立案・実施にあたる。
キャリア・パスポートの取組	・Google Classroom 等の活用(自己の成果や成長を記録確認させ自己管理を促進・個人面談等) ＜全学年＞

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○自己分析を通じ、自分の特性を知る ○社会の様々な分野の進路や職業について知る	○自己の特性を勘案し、自分の在り方・生き方を探る ○就業体験活動等を活かし、具体的な進路選択につなげ、将来を見通した人生設計を立てる	○進路設計の見直しと確認 ○進路目標実現のために必要な学力の定着と充実につとめる
主 な 取 組	○高校生活に適応し、クラス、クラブ、生徒会活動を通じて仲間をつくる ○様々なトピックについて思考をまとめ、他者と共有する訓練をする ○学問分野とその延長線上にある仕事等について各専門分野関係者などから学び、働くことのイメージを持つ ○進路研究と2年次の科目選択	○学問分野とその延長線上にある仕事等について各専門分野関係者などから学び、働くことのイメージを持つ ○研修旅行を通じた就業体験活動を実施。(事前研究、関係者との交流・討論、事後発表会等) ○自らの視野と社会への関心を広げるための研修旅行(学年行事)を実施 ○進路分野模擬授業・講演	○進路実現までの具体的な目標設定、計画及び課題の明確化・情報収集 ○生徒のリーダー学年として、学校諸活動や進路実現に向けて、1・2年次に学んできた各段階を踏みながら実践的な経験を積む。
評 価	・生徒意識調査 ・アンケート ・面接	・生徒意識調査 ・アンケート ・面接	・生徒意識調査 ・アンケート ・面接

年間指導計画と各取組の関連

* 就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他(面接・評価等)
1 年	4～7月 ・「評論の構成や展開」豊かな自己表現やコミュニケーション、すべての学びの基盤としての国語の重要性を理解(国語) ・青年期の特質と自分の生き方・情報化社会の特質・問題点(地歴公民) ・数と式・二次関数(数学) ・生物と遺伝子・顕微鏡やミクロメータの使い方(理科) ・物質と人間生活・物質の構成と化学結合(理科) ・スポーツテスト・体づくり運動・チームスポーツ(保健体育) ・作品鑑賞と創作(楷書基礎・デザイン基礎歌唱)(芸術) ・様々な人々とコミュニケーションをはかる道具としての英語の有用性を理解し、基礎事項を定着させる。(英語) ・社会を構成する自立した生活者について(家庭科) ・Edtech教材(life is tech)の活用(情報)	4月 探究学習の説明 ◀ * これまでのキャリア形成の振り返り * 新生活についての目標と計画 * ロイロノート、Google Classroom を利用した自己管理 5月 キャリアサブリ事前学習 * 地域学習 クラス交流 教育実習生キャリア講話・懇談 6～7月 学問探究 6月 文化祭にむけて 7月 進路講演会 文理選択に向けて	学習オリエンテーション 高校生活オリエンテーション * 諸行事での学習・体験内容を知る・ * クラスや学校全体での共同作業や係分担の決定 * 人間関係構築・先輩との交流 生徒総会① 5月 キャリアサブリ(校外体験学習) 生徒総会② 熱中症予防講座 防災訓練 クラスマッチ 文化祭 医療系就業体験活動(希望者)	個人面談① * 自己成果の確認 積極的な活用指導 進路希望調査① 三者面談① 出張実験教室(小学生対象) (自然科学部) 地域活性化イベント等への参加 (吹奏楽・室内楽・ダンス・書道・洋楽・軽音楽部等) ・地域活性化イベント協力(各地イベント行事等) * クラブ活動の一環として、外部の様々な世代・立場の人々と交流し、取組を行う
	夏休み	2年次文理科目選択研究 学問探究	夢ナビライブ 進路研究・キャンパス見学(希望者)	
	9～12月 ・古文を通し、当時の社会や人々の有り様や心情をとらえる。(国語) ・憲法・政治・経済活動(地歴公民) ・世界の諸地域の地域性(地歴公民) ・図形と計量・データ分析(数学) ・遺伝子・生物の体内環境(理科) ・粒子～化学反応式(理科) ・チームスポーツ(保健体育) ・作品鑑賞と創作(篆刻・篆書・木彫・民族音楽)(芸術) ・長文読解基礎(文構造・文法・単語知識の定着。)(英語) ・人生設計の観点による自分らしい生き方(家庭科)	8～9月 学問探究 8月 2年次履修選択科目説明 9月 合唱コンクールに向けて 進路講演会(千葉工大) 10月 性教育講話 AED講習 10～11月 探究活動 * フィールドワーク 12月 探究活動 * 社会探究・自己理解	医療系就業体験活動(希望者) 立会演説会 生徒会役員選挙 合唱コンクール 銀河セミナー講演会 防災訓練 クラスマッチ 人権学習	進路希望調査② 個人面談② 個人面談③
	1～3月 ・論理的文章の読解技法(国語) ・現代の世界情勢(地歴公民) ・地球的に広がる課題(地歴公民) ・図形・式と証明(数学) ・生物多様性・生態系(理科) ・酸・塩基・酸化還元反応(理科) * 各教科の年間の学習を通じ、情報収集の方法と分類整理・活用方法等について学ぶ	1～2月 探究活動 * 社会探究・自己理解 1年間の振り返り * 自己分析 発表 まとめ 次年度に向けた個々の課題や目標の設定	医療ガイダンスウィーク 就職希望者就業体験活動 オープンキャンパス(希望者)	進路希望調査③ 個人面談④ アンケート(生徒・教員)
	春休み			年間評価、次年度の計画

2 年	4～8月 ・人のあり方と言語の結びつき(国語) ・日本の近代国家成立プロセス・国際関係の変化・現代社会の直面する問題 (地歴公民) ・複素数・方程式・図形・三角関数(数学) ・現象に興味・関心をもち科学的思考力を身につける(理科) ・スポーツテスト・体づくり運動・チームスポーツ(保健体育) ・芸術を通して感性を磨き文化を学ぶ (芸術) ・基礎事項定着と読解力向上(英語) ・保育・食物・衣服に関わる仕事や文化の理解を深める(家庭科)	4月 2年生に進級して ← ＊今年度の個々の目標設定 5月 キャリアサプリア事前学習 → ＊社会見学 6月 キャリアサプリア事後学習 ← 自分の進路や科目選択に活かす 教育実習生と語る会 文化祭にむけて ＊クラスや学校での活動 → 交流などを通して社会性を自ら学ぶ 7月 進路講演会 3年次履修選択科目説明 オープンキャンパスに向けて ＊夏休み中に個々に参加 ＊事前に計画書の作成提出 夏休み オープンキャンパス参加(各自)	学年集会 生徒総会① キャリアサプリア(大学見学) 生徒総会② 防災訓練 クラスマッチ 文化祭 夢ナビライブ(希望者) 医療系就業体験活動(希望者) 保育・福祉就業体験活動(保育基礎) オープンキャンパス(各自)	進路希望調査① 個人面談① スタディサポートの活用 ＊自己成果の確認 積極的な活用指導 三者面談① スタディサポートの活用 出張実験教室(小学生対象) (自然科学部) 地域活性化イベント等への参加 (吹奏楽・室内楽・ダンス・書道・洋楽・軽音楽部等) ・地域活性化イベント協力 (各地イベント行事等)
	9～3月 ・評論における論旨読解方法(国語) ・現代の世界と日本(地歴公民) ・微積分・ベクトル・平面図形・確率統計(数学) ・遺伝・地球史・化学反応・運動の法則(理科) ・チームスポーツ(保健体育) ・ギター・デッサン・刻字作品制作(芸術) ・基礎事項定着と読解力向上(英語) ・課題レポート(家庭科)	9月 オープンキャンパス参加レポート ＊レポート提出 報告発表 グループワーク まとめ 合唱コンクールに向けて → 合唱コンクール 銀河セミナー講演会 防災訓練 立会演説会 生徒会役員選挙 生徒総会 クラスマッチ 人権学習 9～12月 研修旅行事前学習 ＊大学見学 社会見学 平和学習 1月 研修旅行 研修旅行 まとめ 12～2月 志願理由書指導 ＊自己理解を深め、将来のキャリアに対する具体的なイメージの構築 1年間の振り返り	医療系就業体験活動(希望者) 合唱コンクール 銀河セミナー講演会 防災訓練 立会演説会 生徒会役員選挙 生徒総会 クラスマッチ 人権学習 オープンキャンパス(希望者) 就職希望者就業体験活動	進路希望調査② 個人面談⑧ スタディサポートの活用 三者面談② スタディサポートの活用 アンケート(生徒・教員) 進路希望調査③
	春休み		オープンキャンパス(希望者) 就職希望者就業体験活動	年間評価、次年度の計画

3 年	通年 * 志願理由書、自己PR文、小論文の書き方、面接の方法と対策(国語) * すべての教科科目の学習を生涯の教養の土台として意識し、学習を進める。進路目標達成に不可欠な重点科目については、基礎力に加え、応用的な力の育成に努める	志願理由書指導(個別) 面接練習指導(個別) 小論文対策指導(個別) 4月 探究学習発表会 5月 文化祭に向けて * 文化祭準備活動 7月 進路講演会	4～7月 生徒総会① キャリアサブリ(校外学習) 生徒総会② 防災訓練 クラスマッチ 文化祭 夢ナビライブ参加(希望者) 医療系就業体験活動(希望者)	進学希望者指導(～3月迄) 就職希望者指導(～3月迄) 個人面談(随時) * 自己成果の確認 積極的な活用指導 三者面談① * Classiを活用 出張実験教室(小学生対象) (自然科学部) 地域活性化イベント等への参加(吹奏楽・室内楽・ダンス・書道・洋楽・軽音楽部等) ・地域活性化イベント協力(各地イベント行事等)
			夏休み オープンキャンパス(希望者) 信州大学研究会(希望者)	
		9月 合唱コンクールに向けて 共通テスト出願指導	合唱コンクール 入試スケジュール表作成	進路面談(随時) 三者面談⑧
				アンケート(生徒・教員) 進路状況まとめ 3年間の評価